

2025年3月28日

お客様各位

株式会社 日立ソリューションズ  
Fortinet 製品ユーザサポート

## FortiAnalyzer 及び FortiManager 7.2 系のクローズ環境での制限事項について(第三報)

拝啓、平素は Fortinet 製品サポートをご利用くださりまして誠にありがとうございます。

FortiAnalyzer (以下、FAZ) 及び、FortiManager (以下、FMG) における、クローズ環境での制限事項について、下記にご案内いたします。

制限事項に該当する環境でご利用のお客様におかれましては、**回避策を適用の上、ご利用ください。**

**※太字箇所が、第三報での追記もしくは更新箇所となります。**

敬具

記

### 1. 制限事項

**FAZ 及び FMG の仕様変更に伴い、7.2 系以降のバージョンでは、インターネットに接続していない環境(クローズ環境)で利用している場合、GUI が利用できなくなります(※1)。**

### 2. FAZ 及び FMG バージョン 7.2.1 での仕様変更

バージョン 7.2.1 (以下、v7.2.1) での仕様変更より、GUI を利用する際は、Fortinet 社のシステム (FortiCloud) 上で機器情報をレジスト(登録)しており、かつ、機器が Fortinet 社のシステムにポーリングし、同情報を取得(※2)している必要があります。

弊社出荷機器は、出荷時(※3)にレジストを行っているため、機器がインターネットに接続できれば、同情報を自動で取得し、全てのアカウントで GUI が利用可能になります。また、一度同情報を取得した後は、再起動等を行っても状態は維持される(※4)ため、常時インターネットに接続できる環境である必要はありません。

機器をインターネットに接続していない環境でのみ利用している場合、インターネットを通じた情報取得が行えず、GUI が利用できなくなります(※1)。

### 3. 回避策

#### バージョン 7.2.1 及び 7.2.2 の場合

super-user-profile 設定値が disable の管理者プロファイルを割り当てているアカウントを利用することにより、回避(GUI が利用)可能です。詳細は弊社 OS リリース時に発行している、ASRN(アプライアンス製品ソフトウェアリリースノート)を参照してください(※5)。

なお、本回避策はバージョン 7.2.3 以降には適用できないため、バージョン 7.2.3 以降にバージョンアップする際は、インターネットに接続して、Fortinet 社のシステムにレジスト(登録)されている機器情報を取得する必要があります。

#### バージョン 7.2.3 以降(7.4 系以降含む)の場合

機器をインターネットに接続して、Fortinet 社のシステムにレジスト(登録)されている機器情報を取得してください。なお、一度同情報を取得した後は、再起動等を行っても状態は維持される(※4)ため、常時インターネットに接続できる環境である必要はありません。

#### 4. entitlement ファイルの利用について

クローズ環境で機器情報を機器に登録する方法として、Fortinet 社から提供される entitlement ファイルを利用する方法も存在しますが、entitlement ファイルは弊社の FortiCloud アカウントが管理する全てのお客様の機器情報が入ったものとなるため、ご提供できません。

#### 5. お願い事項と今後の対応

**FAZ 及び FMG を制限事項に該当する環境でご利用しており、7.2 系以降にバージョンアップする場合は、回避策を適用の上、ご利用ください。**

本制限事項に該当する環境下でのご利用を検討されていたお客様にはご迷惑をおかけいたしますが、本制限をご理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

尚、現在、お客様でお客様利用機器のみの情報を持った entitlement ファイルを取得する方法を検討しております。本件については進展があり次第、状況をご案内する予定です。

以上

- ※1 バージョン 7.2.1 及び 7.2.2 では、super-user-profile 設定値が enable の管理者プロファイル (Super\_User など) を割り当てているアカウント (admin など) が該当します。ログイン後に表示されるセットアップウィザードを完了できず、GUI の利用ができません。バージョン 7.2.3 以降では、それ以外のアカウントでも、ログイン時に機器の登録が要求され GUI が利用できません。
- ※2 機器が Fortinet 社のシステムから情報を取得しているかは、別紙記載の方法で確認できます。
- ※3 お客様の FortiCloud アカウントで直接レジストされている VM 版は除く。
- ※4 機器を初期化した場合や機器交換を実施した場合は、お客様で機器をインターネットに接続して、再度情報を取得頂く必要があります。
- ※5 ASRN は以下、弊社 Fortinet 製品サポートサイトに掲載しています。尚、同サイトを参照頂く場合は、機器出荷時に同梱しています、ログインアカウントが必要です。

[トップページ]

<https://csps.hitachi-solutions.co.jp/fortinet/index.html>

[FAZ ASRN 掲載ページ]

<https://csps.hitachi-solutions.co.jp/fortinet/cer/fortianalyzer/release.html>

[FMG ASRN 掲載ページ]

<https://csps.hitachi-solutions.co.jp/fortinet/cer/fortimanager/release.html>

別紙：機器情報を取得していることの確認方法

以下のコマンドで、機器が Fortinet 社のシステムから情報を取得しているかを確認できます。

```
# diagnose fmupdate dbcontract
```

<実行例>

```
FortiAnalyzer # diagnose fmupdate dbcontract
FL-XXXXXXXXXXXX [SERIAL_NO]
  AccountID: hs-fgregister@m1a.hitachi-solutions.com
  Industry:
  (以下省略)
```

コマンド実行後の出力内容の「AccountID」に、値(実行例では hs-fgregister@m1a.hitachi-solutions.com)があれば、情報が取得できています(GUI が利用可能)。「AccountID」が空、もしくはコマンドの実行後の出力内容が「No data」となる場合は、情報の取得が行えていません。

6.4 系以降の OS を利用している場合は GUI から確認可能です。「システム設定」の「ダッシュボード」->「ライセンス情報」において、「FortiCloud」項が「登録された」と表示されていれば、情報が取得できています。

<FAZ v7.0.5 での表示例>



以上